



安全データシート

Page 1 of 7

LOCTITE 565 LOW STRENGTH THREAD SEALANT known as 565
PST PIPE SEALANT 50 ML

SDS No. : 153649
V001.3

改訂: 19.04.2016

発行日: 29.09.2016

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 339604
製品名 : LOCTITE 565 LOW STRENGTH THREAD SEALANT known as 565 PST PIPE SEALANT 50 ML

会社名 :

ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1820
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分	標的臓器
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2A	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分 3	気道刺激性

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:	H319 強い眼刺激 H335 呼吸器への刺激のおそれ
安全対策	P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P280 眼保護具/顔面保護具を着用すること。
応急措置:	P304+P340+P312 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分がわるいときは医師に連絡すること。 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
保管:	P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P405 施錠して保管すること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物: 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
酸化チタン	>= 1 - < 10 %
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	1.0 %
ポリグリコールジメタクリレート	30 - 40 %
高分子可塑剤	20 - 30 %
セルロースエステル	10 - 20 %
ポリテトラフルオロエチレン	1 - 10 %
ジメチルシロキサン変性シリカ	1 - 10 %
サッカリン	1 - 10 %
エチレングリコール	0.1 - 1 %

4. 応急処置

皮膚にかかった場合: 水で皮膚を洗うこと
症状がみられる場合は、医師の診察を受ける。

- 眼に入った場合：** 大量の水で最低5分間洗眼すること。刺激を感じたら、医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：** 口をすすぐこと。水を1-2杯飲ませること。無理に吐かせないこと。症状がみられる場合は、医師の診察を受ける。
- 吸入した場合：** 製品が低揮発性なので、特に問題ではない。しかしながら、もし気分が悪い場合は空気の新鮮な場所に移動すること。

5. 火災時の措置

- 消火剤：** 泡、粉末消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤：** 不明
- 火災時の分解物質：** 炭素酸化物、窒素酸化物、刺激性有機蒸気。
- 保護具：** 消防隊員は陽圧自給式呼吸器（SCBA）を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：** 十分な換気を保つこと。
- 環境に対する注意事項** 下水管に流さないこと。
- 除去方法：** 少量の場合紙タオル等で拭き取り、廃棄用容器にて保管すること。大量の漏洩に対しては、不活性な材質のものに吸収させ廃棄するまで、密閉できる容器に保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い** よく換気された場所で使用すること。
手袋と安全眼鏡を着用すること。
感作の危険を防ぐため長時間若しくは、繰り返しの接触は避けること。
- 保管：** 原容器に入れたまま、8-21° Cで保管する。異物混入のおそれがあるため使用した液は元の容器へ戻さないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

成分	日本産業衛生学会	ACGIH
酸化チタン	4 mg/m ³ TWA 1 mg/m ³ TWA 0.3 mg/m ³ TWA	10 mg/m ³ TWA

保護具 :

- 呼吸用保護具:** 換気の良い場所でのみ使用すること。
- 眼の保護具:** 保護眼鏡を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具:** 適切な保護服を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

形状 :	ペースト
色:	オフホワイト, 白
臭い:	データなし
pH :	該当なし
融点/凝固点:	データ無し
沸点:	> 149 ° C (> 300.2 ° F)
引火点:	> 93.3 ° C (> 199.94 ° F)
自然発火温度:	データ無し
蒸気圧:	< 6.67 hPa
蒸気密度 :	データ無し
比重:	1.1
n-オクタノール/水分配係数:	データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性 :

- 化学的反応性:** 強酸化剤
- 混触危険物質:** データなし。
- 化学的安定性:** 推奨保存状態下では安定している。
- 避けるべき条件** 通常の使用、保管条件では安定。
- 危険有害な分解生成物 :** 炭素酸化物

1 1. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
酸化チタン	分類の必要なし			
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	急性毒性	区分4	経口	
	急性毒性	区分3	吸入	
	急性毒性	区分4	経皮	
	皮膚腐食性	区分1B		
	特定標的臓器毒性 - 反復暴露	区分2		
ポリグリコールジメタクリレート	分類の必要なし			
高分子可塑剤	分類の必要なし			
セルロースエステル	分類の必要なし			
ジメチルシロキサン変性シリカ	分類の必要なし			
エチレングリコール	急性毒性	区分4	経口	
	特定標的臓器毒性 - 反復暴露	区分2		腎臓

一般毒性情報: 動物実験検査データなし。

経口毒性: Acute toxicity estimate (ATE) : > 2,000 mg/kg
方法: 評価計算

吸入毒性: Acute toxicity estimate (ATE) : > 5 mg/l
ばく露時間: 4 h
試験環境: 粉塵
方法: 評価計算

経皮毒性: Acute toxicity estimate (ATE) : > 2,000 mg/kg
方法: 評価計算

1 2. 環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	水生環境有害性(急性)	区分2
	水生環境有害性(長期間)	区分2
ポリテトラフルオロエチレン	水生環境有害性(急性)	区分3
サッカリン	水生環境有害性(急性)	区分3

一般環境有害性情報: 下水管/地表水/地下水に捨てないこと。

13. 廃棄上の注意

- 推奨廃棄方法:** 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。
この製品の廃棄物への寄与は、それが仕様される物品と比較して微少である。
- 汚染容器包装の廃棄方法:** 使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。
廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

14. 輸送上の注意

一般情報
RID, ADR, ADN, IMDG, IATA-DGR において危険品ではない。

15. 適用法令

- 労安法:**
- | | |
|------------------|--|
| 名称等を通知すべき有害物 | 酸化チタン
二酸化ケイ素
エチレングリコール |
| 変異原性が認められた既存化学物質 | キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド) |
- 消防法**
- | | |
|--|----------------------|
| | 第4類引火性液体, 第三石油類 非水溶性 |
|--|----------------------|
- 毒劇物法:**
- | | |
|--|-------|
| | 該当しない |
|--|-------|
- PRTR法:**
- | | |
|-----------|---|
| 第1種指定化学物質 | キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド) 政令番号 440 |
|-----------|---|

16. その他の情報

発行日: 29.09.2016
問い合わせ先: 近藤 由紀子、製品安全性及び規制業務担当

注意:

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる二次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

MSDSの内容に関するお問い合わせ ヘンケルジャパン株式会社 製品安全性及び
規制業務担当 横浜市磯子区新磯子町27-7 TEL:045-758-1780 FAX:045-758-
1771